

拡大切除を施行した足底悪性黒色腫に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2023年11月27日～2026年6月14日

〔研究課題〕

掌蹠末端黒子型黒色腫の外科的深部マージンと予後に関する多機関共同後方視的観察研究

〔研究目的〕

悪性黒色腫では、腫瘍の厚さが予後に大きく関連することが知られています。治療の第一選択は手術になり、切除方法は腫瘍の厚さに応じて、病変から水平方向にどれだけ離して切除するかが決められています。しかし、深部方向の切除方法に関しては、明確な基準や推奨はありません。足底の悪性黒色腫の場合、荷重部位であるため、切除方法が術後のQOL(quality of life)に直接影響します。今回、足底の悪性黒色腫の手術を行った患者さんの治療経過を観察して、深部切除マージンと予後の関係を解析して、適正な深部切除マージンを検証します。

〔研究意義〕

深部の切除マージンが縮小されても、予後の増悪がないことが確認された場合、患者さんの術後のQOL向上が期待できます。

〔対象・研究方法〕

2011年4月1日から2023年3月31日までの期間に、足底悪性黒色腫で初回治療として手術を受けた患者さんを対象とします。診療録(臨床データ、画像データ、病理組織所見等)を参照し、必要なデータを収集した後に、主研究機関にデータを送り、解析します。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部 皮膚科学講座

主研究機関：埼玉医科大学国際医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科

研究代表者：小泉 滋 助教

〔個人情報の取り扱い〕

個人情報が分からないように加工した状態で研究データを作成し、主研究機関にデータを送ります。研究終了後は、帝京大学臨床研究センターで10年保管され、情報を廃棄する場合は、個人情報の漏洩に十分注意して廃棄します。

対象となる患者さんで、ご自身の検査結果などの研究への使用をご了承いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：氏名 多田弥生 職名 帝京大学 医学部皮膚科学講座 主任教授
研究分担者：氏名 石川武子 職名 帝京大学 医学部皮膚科学講座 講師
研究分担者：氏名 田中隆光 職名 帝京大学 医学部皮膚科学講座 講師

所属： 帝京大学 皮膚科学講座／帝京大学医学部附属病院 皮膚科
住所： 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211(代表) 内線 30307